

Reducing Environmental Impact At Overseas Bases

海外拠点における環境負荷低減活動



ジャトコ メキシコ社

ジャトコ メキシコ社では、2003年4月の設立以降、環境方針の制定や電力供給側からの省エネルギー活動、廃棄物分別の推進によるリサイクル率の向上など、さまざまな環境活動を推進してきました。特に2009年からは環境マネジメントシステムの構築を進め、2011年5月にISO14001の認証を取得しました。

環境マネジメントシステムの運営に当たり、環境委員会、その副委員会である環境法的要求事項副委員会、省エネルギー副委員会の3つの委員会を設置しています。

環境委員会は、社長、副社長を筆頭に、各部署の代表で構成され、環境にかかわる活動を総合的に審議・評価・フォローしています。また、環境法的要求事項副委員会は、環境担当者をはじめ、生産、安全健康、財務など各部門のメンバーからなり、環境にかかわる法的およびその他の要求事項の特定・評価・適応を行っています。省エネルギー副委員会では、電力・水・ガスなど、それぞれの動力源を使用しているショップごとに、効率的な運用を審議し、推進しています。

また、年度ごとに環境目標を設置し、環境負荷軽減の実現を目指しています。前年度の振り返りを実施し、次年度の目標を設定することで、環境マネジメントシステムの継続的改善を図っています。

■ジャトコ メキシコ社のエネルギー使用量

エネルギー	2020年度	2021年度
電気	169,617,431kW・h	172,062,929kW・h
天然ガス	796,922m³	1,290,724m³
プロパンガス	150t	—
水使用量	307,989m³	329,334m³

ジャトコ(広州)自動変速機有限公司

2007年設立のジャトコ(広州)自動変速機有限公司は2013年から環境マネジメントシステムの構築をはじめ、2014年3月にISO14001を取得しました。

「環境とクルマが共生できる社会の実現」を目指し、同社は環境委員会とISO事務局を設立し、環境マネジメントシステムを運営しています。

環境委員会は総経理、各副総経理および各部署の代表で構成され、環境活動を総合的に管理・評価・フォローしています。ISO事務局は工務部に設置され、環境法規要求の適合評価とその他の日常事項を実施しています。

また、環境負荷低減を実現するため、同社は2014年から省エネルギー活動をはじめ、エネルギー使用量は前年度比3%減を目指しています。

■ジャトコ(広州)自動変速機有限公司のエネルギー使用量

エネルギー	2020年度	2021年度
電力	109,968,489kW・h	87,337,703kW・h
天然ガス	—	—
プロパンガス	—	—
水使用量	161,703m³	131,685m³

ジャトコ(蘇州)自動変速機有限公司

2019年11月に生産開始したジャトコ(蘇州)自動変速機有限公司では、2022年度中のISO14001取得に向けた環境マネジメントシステムの構築をすすめています。この一環として環境委員会を設立や、地域貢献活動として周辺の企業とともに環境活動に取り組み、危険廃棄物と呼ばれる環境影響のある廃棄物量を削減するために切粉と切削油の分離装置や熱処理真空浸炭炉排気のVOCs削減設備を導入し、政府環境局と連携しながら、よりクリーンな企業を目指しています。

■ジャトコ(蘇州)自動変速機有限公司のエネルギー使用量

エネルギー	2020年度	2021年度
電力	29,598,000kW・h	27,699,000kW・h
天然ガス	36,000m³	36,000m³
プロパンガス	—	—
水使用量	43,438m³	43,156m³

ジャトコ タイランド社

2013年9月に生産開始したジャトコ タイランド社では、設立以来環境マネジメントシステムの構築を進め2016年2月にISO14001を取得しました。また「ジャトコ タイランド グリーンアクション」として環境負荷の低減を目指し、次のような環境負荷を低減する活動を計画し、地元の企業と一緒に取り組んでいます。

1. 浴湯を他社と共同購入することで環境負荷低減
2. 真空浸炭熱処理設備の導入
3. 工場排水の浄化
4. 資源材料の分別回収による再利用化
5. 工場用地内の緑地率極大化

■ジャトコ タイランド社のエネルギー使用量

エネルギー	2020年度	2021年度
電力	14,555,600kW・h	19,590,020kW・h
天然ガス	—	—
プロパンガス	17.46t	20.12t
水使用量	34,025m³	42,824m³